



地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

着任のご挨拶

事務部長 黒田 稔

このたび、4月1日付 順天堂大学練馬病院に着任いたしました。よろしくお願いいたします。

順天堂大学練馬病院では地域医療の拠点として、運営方針である救急医療、小児医療、災害時医療に重点をおいていることから、これらの医療を患者さんの立場に立って実践することを使命と考えます。このような状況の中、患者さん中心の「チーム医療」の実践と共に礼儀・接遇・マナーに心掛け、事務部全職員が診療の一助に医師、看護師、コメディカル他の職員と一丸となって医療安全を最優先に、受診される患者さんから「順天堂練馬病院で診てもらってよかった」と信頼されるよう、努力していきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長 岡田 綾

このたび順天堂大学練馬病院看護部長を拝命いたしました岡田綾と申します。

看護師は患者さんの安全を守り、安心・安楽な療養生活を送っていただくこと、その方が望む社会生活への復帰を支えることを主な職務としております。看護部は400名を越える職員がいる大所帯ですので、何よりチームワークを大切に、皆さまからいただくご意見に耳を傾け、よりよい医療の実現を目指し活動していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

空気が澄むと凛々しい富士山の姿が目にとまります。そこからもエネルギーをいただき、日々仕事に励んでまいります。



開腹せず胃がんを摘出する治療法がはじまりました 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)について

消化器内科 准教授 傅 光義

内視鏡による早期がんの局所切除は、外科的切除に比べて低浸襲性(患者さんの身体への負担、入院期間が短い、お腹に傷が残らないことなど)、機能温存(胃や腸などを大きく切らずに)、術後のQOLの観点(早く動けることや食事が出来ること)から優れた治療法です。

したがって、リンパ節転移がない早期がんは、技術的に局所を内視鏡で完全に切除可能であれば根治可能なので、外科手術の必要はありません。

しかし、リンパ節転移がない早期がんであるかどうかを内視鏡切除前に完全に診断することは現時点では残念ながら不可能です。よって、臨床的には切除後の組織検査によって根治度を判断しています。

ところが、従来の方法では、技術的や物理的限界からがんを分割して切除する(何個かに分けてとること)のために、がん細胞を胃内に取り残してしまうことによる再発があるといわれております。

また、根治度の判断のための組織検査を十分に行うことが出来なくなることもあります。この技限界を克服するために、内視鏡の先端から電気メス(ナイフ)を用いて、病変を十分な余裕を持って切除し、より大きながん(10cm以上でも可能)を確実に一括で切除する方法(がんをナイフでそぎ落とす)が内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれるようになった手技です。ESDによる早期胃がんや早期食道がんの治療は保険適応になりました。当院もこの治療を導入しており、患者さんの治療をいたしております。



准教授 傅 光義



糖尿病はどんな病気？

糖尿病・内分泌内科 前任准教授 川角 正彦

血液の中の糖の大部分はブドウ糖です。ブドウ糖は体のなかでどのような働きをしているのでしょうか？

ブドウ糖は体中のいろいろな臓器の細胞にとりこまれてエネルギー源として使われます。なかでも脳はたくさんブドウ糖を必要とし1日に約120グラムも消費します。

このなくてはならないブドウ糖ですが、血液中に増えすぎると血管を傷つけ、いろいろな臓器に障害をおこします。



前任准教授 川角正彦

糖尿病とは、血液中のブドウ糖の濃度が高い状態が長くつづき、放っておくと眼、腎臓、神経などに合併症をおこす病気です。

健康な人の血液中のブドウ糖濃度は100mg/dL程度に調節されています。インスリンというホルモンはすい臓から分泌され、ブドウ糖濃度が高くなりすぎないように働いています。

糖尿病はインスリン分泌が減ることによって発症します。また、病気になってから年数が経つに従ってその分泌量がより低下することが知られています。

このことは数千人の患者さんを対象とした英国の研究で明らかになりました。つまり糖尿病は進行性の病気であるといえるのです。多くの患者さんは糖尿病と診断された当初は食事療法や運動療法だけで適切な血糖値を保つことができます。しかし徐々にそれが難しくなり、のみ薬やインスリン注射などの治療が必要となることも多いのです。

合併症を起こさないための目安として、空腹時の血糖を130mg/dl未満に下げること、長期の血糖コントロール指標である糖化ヘモグロビン(ヘモグロビンA1c)を6.5%未満に保つことが推奨されています。糖尿病と診断されたら医療機関を受診し、そのときの状態に合わせた治療を中断なくうけることが肝心です。

脳卒中と生活習慣病(メタボリック症候群)の関係

脳神経内科 准教授 平澤 基之

脳卒中の死亡率は死因の第2位であり、また重い後遺症が残れば介護が必要となる病気です。脳卒中は大きく脳出血と脳梗塞に分けられますが、脳出血はかなり発症率が低下し、現在の脳卒中の多くは脳梗塞です。

脳卒中は検査を繰り返しても何時起こるか予想できるものではありませんが、脳卒中の起こるメカニズムや起こりやすい危険因子は解明されてきており、危険因子を取り除くことが脳梗塞の発症予防・再発予防のために非常に大切です。



准教授 平澤 基之

脳梗塞には心臓の不整脈等から生じる心原性脳塞栓症と脳動脈硬化から生じる脳血栓症(アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞)の2つに大きく分類されます。脳血栓症は脳動脈硬化と関係があり、現在徐々に増加傾向にあります。脳血栓症の発症予防には脳動脈硬化の進行予防が必要になります。脳動脈硬化を進行させる代表的な危険因子としては高血圧、糖尿病、脂質代謝異常、肥満、喫煙等が知られています。

これらの危険因子が1つ存在するごとに脳梗塞発症の危険度が2~3倍ずつ増加しますので、危険因子を一つ一つなくすことが大切です。中でも内臓脂肪型の肥満は高血圧、脂質代謝異常、糖尿病等の発症や悪化に密接な関係を持つと考えられており、内臓脂肪型肥満であるメタボリック症候群の予防が大切です。

脳梗塞発症の危険因子を持たないようにするため、適度な運動と食事に留意し、まずは内臓脂肪型肥満の予防をこころがけるようにしましょう。



めまい外来開設!

耳鼻咽喉・頭頸科 講師 畠 将晃

平成21年6月よりめまい外来を開設いたしました。めまいを起こす原因は多岐にわたります。しかしながら、一般の外来では十分な診察時間がとれず、診断に苦慮することが多々あり、一般外来の弱点となっていました。



講師 畠 将晃

この弱点を補うために、このめまい外来は、完全予約制とし、問診・診察の後、聴力検査、電気的な眼球運動の検査、MRIによる画像検査などを行います。これらを総合的に判断し、患者さんに生じためまいの原因を分析・診断しています。その診断のもと、薬物療法やリハビリを中心とした治療を行ってまいります。また、完全予約制であることを生かし、十分な病状説明を行い、再発予防と治癒のためのきめ細かな生活指導を行います。

めまい外来は完全予約制となっており、一般外来もしくは他院からのご紹介により予約を取ることが可能です。めまいでお困りの方は、外来医師にお申し出ください。



トピックス

“にきび”でお悩みの方へ

皮膚・アレルギー科 教授 比留間 政太郎

“にきび”（尋常性ざ瘡）は、若い男女の大きな悩みです。“にきび”の原因は、年頃になり脂腺からの皮脂の分泌が増加し、化粧や汚れた手などで毛穴が詰まり、皮脂が溜まって、細菌が増殖して、化膿を繰り返すため生じます。この“にきび”に画期的な治療法が開発されました。



ブルーライト光線治療器:週1-2回、計10回、ニキビ菌が死滅する光線を当てます。

ディフェリンゲル:毛穴の詰まりを溶かします。

“にきび”の原因を根本から取り除く軟膏です。

使い方が難しいので、医師が指導します。

重症の患者さんは、まず光線療法、軽症の患者さんは軟膏で治療します。半年間頑張ると、きれいになります。担当医へご相談ください。



婦人科

産科・婦人科 准教授 荻島 大貴

婦人科では子宮卵巣にまつわる疾患から日常生活における女性のプライマリーケアを担当しております。子宮筋腫や子宮内膜症で生ずる過多月経や月経困難症、性器脱などの良性疾患に対して日常生活の質の向上のために安全で確実な最新の医療を提供していきます。

卵巣がん、子宮頸がん、子宮体がんなどの悪性腫瘍に対して国際的なガイドラインに基づいた診療とともに、一人ひとりの心情や社会的背景にあわせた治療をすすめてまいります。婦人科の受診は敬遠されがちですが、いつでもご相談ください。



当院は、 病院機能評価認定施設です。

当院は、2009年1月 財団法人医療機能評価機構が主催する医療機関第三者評価におきまして、認定（評価体系Ver5.0）を受けました。



かかりつけ医はいらっしゃいますか？

当院は皆さんのかかりつけ医の先生と連携した診療を行っています。地域に密着した診療を行うために、そして患者さん一人ひとりに安全で根拠に基づく適切な質の高い医療を提供するために、ご自宅や職場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めします。

初診でご来院されるかたは、保険医療機関が発行する診療情報提供書(紹介状)をご持参の方を優先させていただきます。

